

復習シート 第1学年 数学



組		番 号		名 前	
---	--	--------	--	--------	--

(「数と計算」を問う問題)

レベル6

① 次の計算をしましょう。

(1) 3.5×2.6

答え

(2) $4.8 \div 1.2$

答え

(3) $\frac{1}{6} \times \frac{2}{3}$

答え

② 次の数の逆数を答えましょう。

レベル7

(1) 1.3

答え

(2) 1.2

答え

③ 次の問題に答えましょう。

レベル8

(1) 2 L入りのお茶のペットボトルが5本あります。このお茶を、6本の容器に等しく入れます。1つの容器に入っているお茶は何Lになりますか。

答え

L

復習シート 第1学年 数学

埼玉県学力・学習状況調査



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

模範解答

(「数と計算」を問う問題)

① 次の計算をしましょう。

(1) 3.5×2.6

答え

9.1

(2) $4.8 \div 1.2$

答え

4

レベル6

(3) $\frac{1}{6} \times \frac{2}{3}$

答え

$\frac{1}{9}$

② 次の数の逆数を答えましょう。

(1) 1.3

答え

$\frac{10}{13}$

(2) 1.2

答え

$\frac{5}{6}$

レベル7

③ 次の問題に答えましょう。

(1) 2 L入りのお茶のペットボトルが5本あります。このお茶を、6本の容器に等しく入れます。1つの容器に入っているお茶は何Lになりますか。

お茶の量は、 $2 \times 5 = 10$ より、全部で10Lとなります。

10Lのお茶を6本の容器に等しく入れるので、

$$10 \div 6 = \frac{10}{6} = \frac{5}{3} \left(1 \frac{2}{3}\right)$$

答え

$\frac{5}{3} \left(1 \frac{2}{3}\right)$ L

レベル8

復習シート 第1学年 数学



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

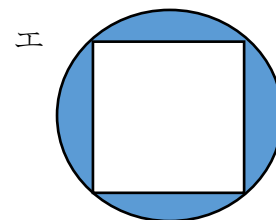
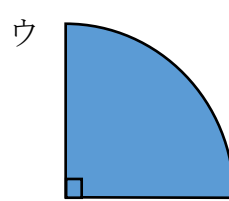
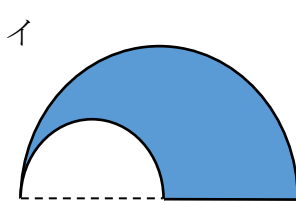
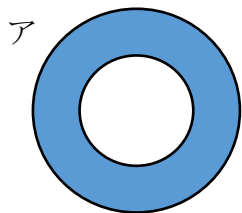
(「図形」を問う問題)

1 次の問題を解きなさい。

レベル9

(1) 次の図形は全て円の一部です。

図形の色を塗った部分の面積が $\text{半径} \times \text{半径} \times 3.14 \div 4$ の式で面積を求められる図形はどれでしょう。ア～エの中から選びましょう。



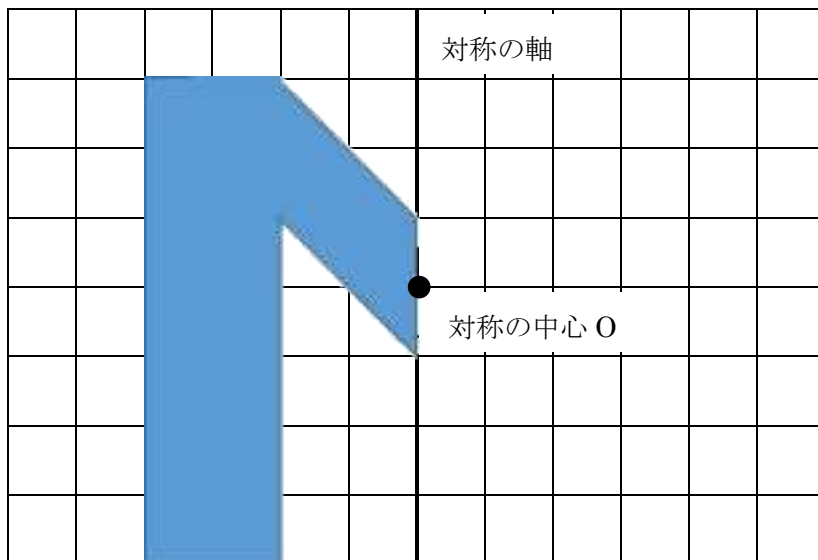
答え

レベル6

2 次の文の中のア, イに当てはまる選択肢の組み合わせの正しいものをア～エの中から選びましょう。※この用紙の向きはそのまま考えます。

下の図形を使ってできる線対称な図形はアルファベットの (1) で、
点対称な図形はアルファベットの (2) です。

ア M イ N ウ W エ Z



(1) 答え

(2) 答え

復習シート 第1学年 数学



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

模範解答

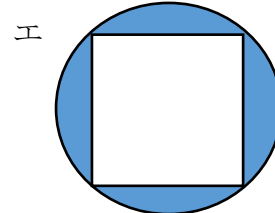
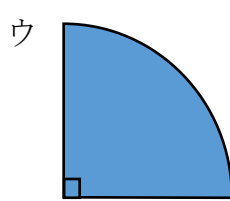
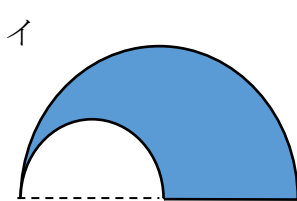
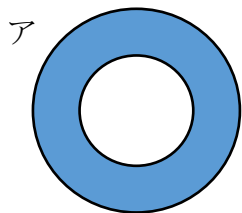
(「図形」を問う問題)

1 次の問題を解きなさい。

レベル9

(1) 次の図形は全て円の一部です。

図形の色を塗った部分の面積が $\text{半径} \times \text{半径} \times 3.14 \div 4$ の式で面積を求められる図形はどれでしょう。ア～エの中から選びましょう。



$\text{半径} \times \text{半径} \times 3.14 \div 4 \Rightarrow \text{円の面積の} \frac{1}{4}$

答え
ウ

レベル6

2 次の文の中のア, イに当てはまる選択肢の組み合わせの正しいものをア～エの中から選びましょう。※この用紙の向きはそのまま考えます。

下の図形を使ってできる線対称な図形はアルファベットの (1) で、
点対称な図形はアルファベットの (2) です。

ア M イ N ウ W エ Z

(1) 答え
ア

(2) 答え
イ

復習シート 第1学年 数学



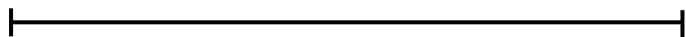
組		番 号		名 前	
---	--	--------	--	--------	--

(「変化と関係」を問う問題)

- 1 次の問題を解きなさい。

レベル5

4000円のおこづかいを、兄と弟の比が5 : 3になるように分けます。
2人がもらえるお金は、それぞれ何円ですか。



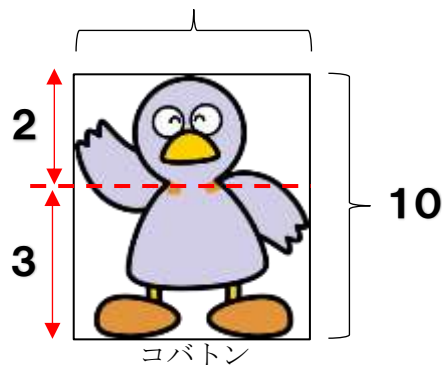
答え

兄 円, 弟 円

レベル8

- 2 右の図のコバトンのたての長さ(縦)と横の長さ(横)を比べたところ、10 : 9となりました。また、そのときの頭と体の部分のたての長さの比は2 : 3でした。 **9**

- (1) 横の長さが180cmのとき、たての長さは何cmですか。



答え

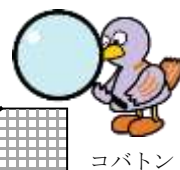
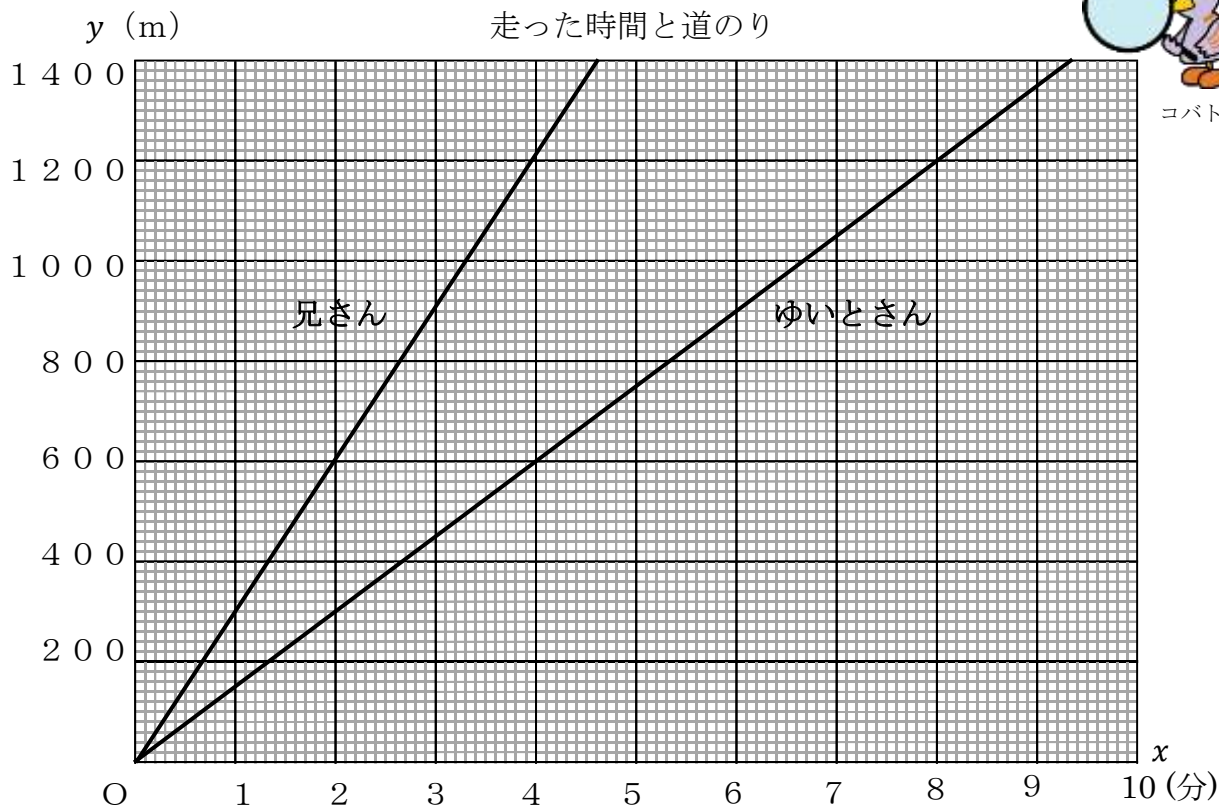
cm

- (2) 横の長さが90cmのとき、コバトンの頭の部分のたての長さは何cmですか。言葉や式を使って説明しましょう。

答え

レベル9

3 下のグラフは、ゆいとさんと兄さんが同じコースを同時に出発したときの、走った時間と道のりを表しています。道のり y mは、走った時間 x 分に比例するとき、次の問題に答えましょう。



(1) ゆいとさんと兄さんは、それぞれ1分間と4分間で何m走れるでしょうか。グラフから読み取りましょう。

答え

	ゆいとさん	1分で	m	兄さん	1分で	m
		4分で	m		4分で	m

(2) 600mの地点を兄さんが通過してから、ゆいとさんが通過するまでの時間は何分ですか。また、グラフの中でその時間がわかるところに線を引きましょう。

答え

分



4 ともなって変わるいろいろな2つの数量の変わり方を調べます。

以下の問いに答えましょう。

- (1) 文を読んで、表を完成させましょう。
- (2) 表を見て、 y を x の式で表しましょう。
- (3) y が x に比例するものには○， y が x に反比例するものには△，どちらでもない場合は×を書きましょう。

ア 6 kmの道のりを時速 x kmで歩いたときのかかった時間 y 時間

<表>

時速	x (km)	1	2	3	4	5	...
時間	y (時間)						...

<○か△か×>

<式>

_____ $y =$ _____

イ 20 cmのろうそくが燃えて、 x cm溶けたときの残りの長さが y cm

<表>

溶けた長さ	x (cm)	1	2	3	4	5	...
残り	y (cm)						...

<○か△か×>

<式>

_____ $y =$ _____

ウ 分速60 mで歩く人の、歩く時間 x 分と進む道のり y m

<表>

時間	x (分)	1	2	3	4	5	...
道のり	y (m)						...

<○か△か×>

<式>

_____ $y =$ _____

復習シート 第1学年 数学

埼玉県学力・学習状況調査



組		番号		名前	
---	--	----	--	----	--

模範解答

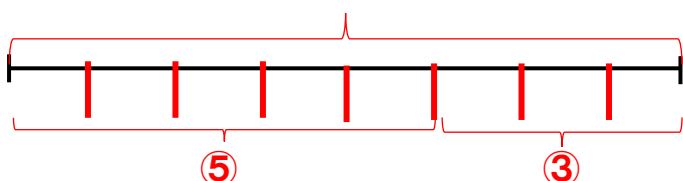
(「変化と関係」を問う問題)

- 1 次の問題を解きなさい。

レベル5

4000円のおこづかいを、兄と弟の比が5:3になるように分けます。
2人がもらえるお金は、それぞれ何円ですか。

4000円



$$4000 \div 8 = 500 \text{ (円)}$$

4000円を8等分したうちの1つ分は500円なので、

$$\text{兄} \cdots 500 \times 5 = 2500 \text{ (円)}$$

$$\text{弟} \cdots 500 \times 3 = 1500 \text{ (円)}$$

答え

兄 **2500** 円, 弟 **1500** 円

- 2 右の図のコバトンのたての長さ(縦)と横の長さ(横)を比べたところ、10:9となりました。また、そのときの頭と体の部分のたての長さの比は2:3でした。 **9**

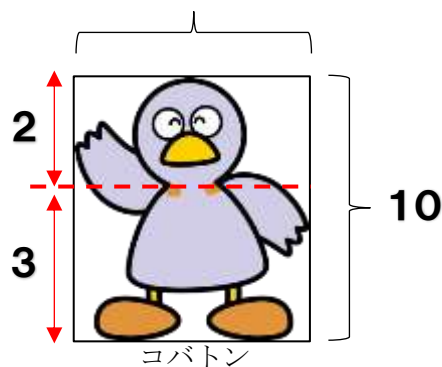
(1) 横の長さが180cmのとき、たての長さは何cmですか。

縦の比	横の比	縦の長さ	横の長さ
10	: 9	= □(cm)	: 180(cm)
			× 20

$$9 \times 20 = 180 \text{ なので、} 10 \times 20 = 200$$

答え

200 cm



(2) 横の長さが90cmのとき、コバトンの頭の部分のたての長さは何cmですか。言葉や式を使って説明しましょう。

縦の比	横の比	縦の長さ	横の長さ
10	: 9	= □(cm)	: 90(cm)
			× 10

$$9 \times 10 = 90 \text{ なので、} 10 \times 10 = 100$$

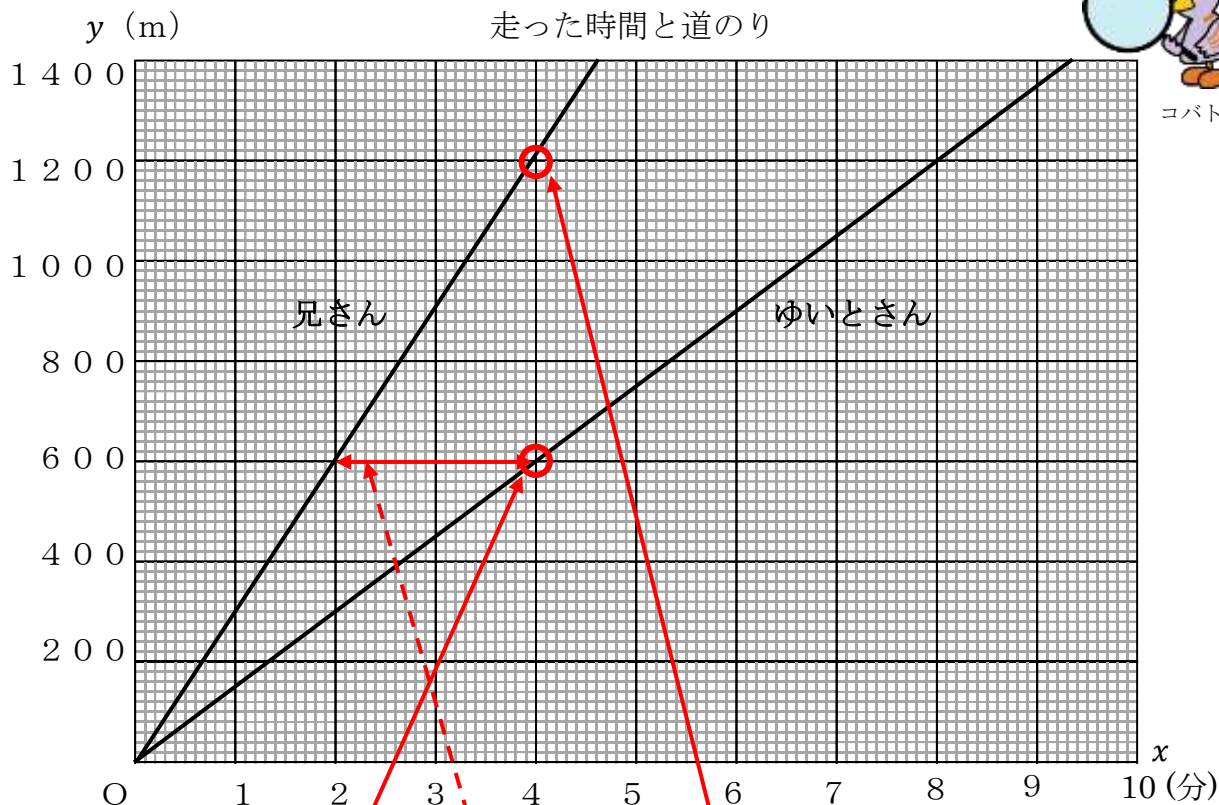
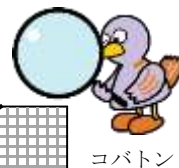
コバトンの頭の部分のたての長さは、100cmを5等分したうちの2つ分なので、

$$100 \times \frac{2}{5} = 20 \times 2 = 40$$

答え **40** cm

レベル9

3 下のグラフは、ゆいとさんと兄さんが同じコースを同時に出発したときの、走った時間と道のりを表しています。道のり y mは、走った時間 x 分に比例するとき、次の問題に答えましょう。



(1) ゆいとさんと兄さんは、それぞれ1分間と4分間で何m走れるでしょうか。グラフから読み取りましょう。

答え

ゆいとさん	1分で	150	m	兄さん	1分で	300	m
	4分で	600	m		4分で	1200	m

(2) 600mの地点を兄さんが通過してから、ゆいとさんが通過するまでの時間は何分ですか。また、グラフの中でその時間がわかるところに線を引きましょう。

兄さんとゆいとさんが、600mの地点を通過した時間をそれぞれ比べてみましょう。
※グラフを横軸を見ます。

答え

2 分

4 ともなって変わるいろいろな2つの数量の変わり方を調べます。

以下の問いに答えましょう。

- (1) 文を読んで、表を完成させましょう。
- (2) 表を見て、 y を x の式で表しましょう。
- (3) y が x に比例するものには○, y が x に反比例するものには△, どちらでもない場合は×を書きましょう。

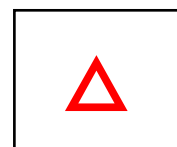


ア 6 kmの道のりを時速 x kmで歩いたときのかかった時間 y 時間

<表>

時速	x (km)	1	2	3	4	5	...
時間	y (時間)	6	3	2	1.5	1.2	...

<○か△か×>



<式>

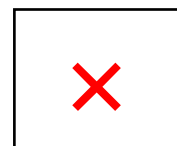
$y = 6 \div x$ ← $x \times y = 6$ だから

イ 20 cmのろうそくが燃えて、 x cm溶けたときの残りの長さが y cm

<表>

溶けた長さ	x (cm)	1	2	3	4	5	...
残り	y (cm)	19	18	17	16	15	...

<○か△か×>



<式>

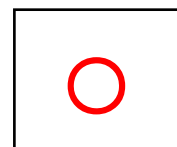
$y = 20 - x$ ← $x + y = 20$ だから

ウ 分速60 mで歩く人の、歩く時間 x 分と進む道のり y m

<表>

時間	x (分)	1	2	3	4	5	...
道のり	y (m)	60	120	180	240	300	...

<○か△か×>



<式>

$y = 60 \times x$ ← $y \div x = 60$ だから

復習シート 第1学年 数学



組		番 号		名 前	
---	--	--------	--	--------	--

〔「データの活用」を問う問題〕

レベル5・6

1 次の問題を解きなさい。

(1) 下の度数分布表は、ある小学校の6年生男子のボール投げの記録をまとめた一部です。度数分布表だけから求めることができる値を、**ア**から**オ**の中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

【1組のボール投げの記録】

きょり (m)	人数 (人)
10 以上 ~15 未満	1
15 以上 ~20 未満	7
20 以上 ~25 未満	2
25 以上 ~30 未満	2
30 以上 ~35 未満	1

【2組のボール投げの記録】

きょり (m)	人数 (人)
10 以上 ~15 未満	2
15 以上 ~20 未満	3
20 以上 ~25 未満	3
25 以上 ~30 未満	5
30 以上 ~35 未満	2

- ア** 最頻値
- イ** 30m以上の人数の割合
- ウ** 平均値
- エ** 20m 未満の人数
- オ** 中央値

答え

と

(2) 1組と2組のボール投げの記録をまとめた表をもとに、それぞれのクラスの最頻値、中央値、平均値を求めましょう。(平均値は、小数第二位の数を四捨五入)

【1組男子の記録】

15m	42m	22m	15m	15m
21m	28m	27m	16m	42m
18m	50m	18m	12m	45m
33m	39m	16m	36m	

【2組男子の記録】

11m	30m	24m	25m	23m
26m	32m	12m	29m	16m
17m	25m	21m	35m	
38m	27m	19m	25m	

答え

最頻値…

中央値…

平均値…

答え

最頻値…

中央値…

平均値…

(3) 1組と2組のどちらがボール投げが得意だと言えますか。また、その理由を書きましょう。

答え

組

理由

復習シート 第1学年 数学



組		番 号		名 前	
---	--	--------	--	--------	--

模範解答

（「データの活用」を問う問題）

レベル5・6

1 次の問題を解きなさい。

（1）下の度数分布表は、ある小学校の6年生男子のボール投げの記録をまとめた一部です。度数分布表だけから求めることができる値を、**ア**から**オ**の中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

【1組のボール投げの記録】

きより (m)	人数 (人)
10 以上 ～15 未満	1
15 以上 ～20 未満	7
20 以上 ～25 未満	2
25 以上 ～30 未満	2
30 以上 ～35 未満	1

【2組のボール投げの記録】

きより (m)	人数 (人)
10 以上 ～15 未満	2
15 以上 ～20 未満	3
20 以上 ～25 未満	3
25 以上 ～30 未満	5
30 以上 ～35 未満	2

- ア** 最頻値
- イ** 30m以上の人数の割合
- ウ** 平均値
- エ** 20m 未満の人数
- オ** 中央値

答え
イ と エ

（2）1組と2組のボール投げの記録をまとめた表をもとに、それぞれのクラスの最頻値、中央値、平均値を求めましょう。（平均値は、小数第二位の数を四捨五入）

【1組男子の記録】

15m	42m	22m	15m	15m
21m	28m	27m	16m	42m
18m	50m	18m	12m	45m
33m	39m	16m	36m	

【2組男子の記録】

11m	30m	24m	25m	23m
26m	32m	12m	29m	16m
17m	25m	21m	35m	
38m	27m	19m	25m	

答え
最頻値… 15 m
中央値… 22 m
平均値… 26.8 m

答え
最頻値… 25 m
中央値… 25 m
平均値… 24.2 m

（3）1組と2組のどちらがボール投げが得意だと言えますか。また、その理由を書きましょう。

答え
1（2）組
どちらでも可

理由
（1組）平均値が26.8mで、2組より高いから
（2組）最頻値と中央値が1組より高いから など
※データを根拠にして理由が述べられていれば正答とする。